



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hoyukai.org/>

第187号

発行:2021年11月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会

事務長に就任して

～ 現状と今後の目標 ～

介護老人保健施設 阿久和鳳荘 事務長 相原 雄司



令和3年1月より阿久和鳳荘の事務長を拝命いたしました相原と申します。長年携わってきた医療を離れ、未知である介護という分野で働くという重要な職務を頂きましたが、まだまだ知識、経験不足であります。引継ぎを終え、本格的に動き出した時、施設運営・介護保険制度・人事労務といった管理業務など様々な課題に対し、「これでいいのか、こうすればもっと良かったのでは」と毎日、試行錯誤しながら苦悩する日々を過ごしておりましたが、介護老人保健施設の制度・介護報酬についての理解・知識を深めつつ、周りのスタッフの協力も得て、日々邁進していくことで少しずつではありますが、理想の介護老人保健施設の形に近づけてこれたと思っております。今後も「事務長」という立場だからこそ、いろいろな視点・観点で的確な意見・考えを持ち、職を全うしていく所存です。

また、着任してから早いものでもうじき1年を迎えようとしておりますが、阿久和鳳荘では今年度、平成30年度に発足された在宅復帰・在宅療養支援機能に力を入れ、取り組みました。この制度は、ご利用者一人ひとりが状態に応じた適切なサービスを受けられるよう、より質の高い効率的な介護の提供体制の整備が求められています。介護老人保健施設において、今まで「在宅強化型」「加算型」「従来型」の3類型だったものが「超強化型」「在宅強化型」「加算型」「基本型」「その他型」の5類型に大きく変更になりました。在宅復帰率やベッド回転率、入所・退所前後訪問指導割合、喀痰吸引・経管栄養の実施割合、居宅サービスの実施数等、相談員やリハビリスタッフの人員配置等10項目の値の合計値で一定数の値を超えれば上位の型を算定できる

というものです。ひと月だけを見るのではなく前3ヶ月・6ヶ月の実績を基に点数を出し、その値を10項目の平均で計算し算出します。当施設はスタッフの努力と協力もあり、今までの「基本型」から「加算型」を取得することが出来ました。

介護老人保健施設とは総合病院などの急性期病院を退院後、自宅で従来通りの生活を送れるようにリハビリテーション等を提供し、在宅復帰を目指すための中間施設としての役割を担っております。また当施設では、在宅へ戻られた後も繋がりを終わらせることなく通所リハビリテーションを通じてリハビリ等を行い、ADLを保ちつつ自宅での生活を継続していただくことに尽力しております。退所した後も住み慣れた環境で医療・介護サービスを受けられることが利用者様にとって、安心した生活を送れることに繋がる。また施設としては在宅復帰支援に取り組み、さらに上位の型を算定することで貢献できると考えております。

今後も、地域貢献活動をはじめ、協力医療機関や近隣施設、地域の方々との連携、及び多職種協働がより必要と考えます。これからも連携を密に図りながら加算型を継続していくと同時に上位型の在宅強化型を目標にし、取り組んでいきたいと思っております。

社会情勢の変化が経営・運営に与える影響は大きく、災害・感染症、介護人材の不足、景気低迷による利用者からの未収金問題など様々なリスクが見えてきております。これらの問題に早期に取り掛かかり、状況に応じて計画を見直していくことが施設運営に欠かせないことと考えております。これらの事を課題として今後も努力して参りたいと思っております。

医療法人社団 鵬友会 介護老人保健施設 **阿久和鳳荘**
通所リハビリテーション (デイケア)

**楽しいリハビリで
もっと「動ける！」
もっと「できる！」を
増やしませんか？**

通所リハビリテーションとは

加齢や病気などにより低下した心身の機能を、リハビリテーション・体操・手作業・レクリエーション等を通じて維持・向上させていくことを目的にしつつ、食事や入浴・季節の行事等の提供により、在宅生活を続ける支援をさせていただく日帰りの介護サービスです。

リハビリ

日常生活に必要な機能を維持・改善するための訓練や相談を行います。また、必要に応じて自宅へ訪問し、自宅の環境調整を行います。

レクリエーション

楽しい雰囲気体操や脳トレーニングをしています。



まずは、週1回からの利用を始めてみませんか？

担当：南波(なんば)まで TEL:045-812-8881